

郵便配達は二度ベルを鳴らす (1946)

THE POSTMAN ALWAYS RINGS TWICE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 113分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

J・M・ケインの傑作ハードボイルド小説のハリウッドでの最初の映画化で、原作の激しい性と暴力の表現はやはり当時の製作コード上抑えた形で描写されたが、むしろ、その抑圧的なムードがヒロインのターナーの頹廃美を伴って、得も言われぬノワールな趣をかもしている。が、そんな魅惑的な彼女もガーフィールドのいきがった小悪党の流れ者の前では影が薄い。不貞の妻の彼女にそそのかされて、その旦那のレストラン店主殺害の共犯となる彼のモノローグで、この暗い物語は展開していくのだが、その頃、若き演技派としてめきめき頭角を顕していた彼の語り、芝居には自然であることに加え、後のM・ブランドに通ずる新しい輝きが鈍く光っており、その後に赤狩りの犠牲となり失意のうちに急死したことが全く悔やまれる。古式ゆかしいタッチとリアルな新味が混然となった作品。

【クレジット】

監督	テイ・ガーネット	Tay Garnett
製作	ケイリー・ウィルソン	Carey Wilson
原作	ジェームズ・M・ケイン	James M. Cain
脚本	ハリー・ラスキン	Harry Ruskin
	ニーヴェン・ブッシュ	Niven Busch
撮影	シドニー・ワグナー	Sidney Wagner
音楽	ジョージ・バスマン	George Bassman
出演	ジョン・ガーフィールド	John Garfield
	ラナ・ターナー	Lana Turner
	セシル・ケラウェイ	Cecil Kellaway
	ヒューム・クロニン	Hume Cronyn
	レオン・エイムズ	Leon Ames
	オードリー・トッター	Audrey Totter
	アラン・リード	Alan Reed
	ジェフ・ヨーク	Jeff York